



最新ボランティア情報

地域交流センターに届いた**最新ボランティア情報**をこちらに掲載します。詳細な情報が掲載されているチラシは、地域交流センターに掲載されていますので、気軽に取りに来て下さいね。**地域交流センターの場所は、2号館 1F インフォメーション隣です。**

私たちとお話しながら、一緒に活動してみませんか?

- ◆内容 紙すきや畑などの活動のサポート
- ◆日時 月～金 10:00～15:00
- ◆場所 ほっと・館(センター南駅より徒歩15分)
- ◆その他 経験・年齢は不問です!!難しいお手伝いはお願ひしません。
- ◆問い合わせ先 地域活動支援センター ほっと・館 TEL:045-944-2913
Mail:hotkan@y-kyousei.or.jp Blog:http://plaza.rakuten.co.jp/hotkankan/



教員を目指している方 大募集!!

- ◆内容 わくわくプラザを利用している児童に自学・自習の支援をする。
- ◆日時 月曜日～金曜日 17:00～18:00
- ◆場所 長沢小学校わくわくプラザ室(田園調布学園大学より徒歩10分)
南百合丘小学校わくわくプラザ室(新百合丘駅より徒歩10分)
- ◆交通費 実費弁償
- ◆問い合わせ先 東百合丘こども文化センター 044-954-4493
長沢小学校わくわくプラザ 044-954-5022
南百合丘小学校わくわくプラザ 044-966-6099



「あの日」を、決して忘れない。DCU ボランティアバスで被災地へ。 プロジェクトメンバー募集

- ◆内容 大学が用意したバスに乗り、被災地まで行き、被害が大きかった地域の見学やボランティア活動を行います。前回のボランティア活動は、子ども対象の「ミニ緑日」を行いました。
- ◆実施日 平成24年5月27日(日)
*定期的に本番に向けての打ち合わせを行いますので、できる限り参加して下さい。
- ◆集合・開催 **集合**新宿駅西口 6:15 **解散**新宿駅西口 20:30
*6:30に出発します。遅刻厳禁。*交通状況によって到着予定時刻が前後します。
- ◆活動場所 いわき市中央台高久第一応急仮設住宅(福島県いわき市中央台高久10)
- ◆募集人数 15名
- ◆持ち物 筆記用具、防寒具、飲み物、雨具、酔い止め薬、タオル、ボランティア活動(天災タイプ)保険証など
- ◆参加条件 1.保護者の承諾を得ること 2.ボランティア活動保険(天災タイプ)に加入すること
- ◆受付方法 **平成24年5月10日(木)まで**に、地域交流センターにて登録を行なってください。
*先着順としますので、人数が集まり次第、募集を締め切ります。



ボランティア活動って何?知りたいのなら、始めてみよう!

百聞は一見に如かず!!!

みんなで変える
みんなで変わる



田園調布学園大学 ボランティア情報誌

Vol.32

発行日:2012年(平成24年)5月2日(水)
発行:田園調布学園大学 地域交流センター
〒215-8542 神奈川県川崎市麻生区東百合丘3-4-1
TEL:044-966-2780 FAX:044-966-3512
E-mail:center@dcu.ac.jp
ホームページ:http://www.dcu.ac.jp/region/regional01/

地域交流センター利用術



一、ボランティアについてわからない時は、相談すべし

地域交流センターでは七十ヶ所以上の施設、学校などからのボランティア情報があります。どのボランティアをしたらいいかわからない時は地域交流センターの職員や学生スタッフが相談に応じ、一緒に希望のボランティアを探します。また、ボランティア関連の本の貸し出しも行なっているので活用してください。

一、ボランティア活動を終えたら、報告すべし

これから同じボランティア活動を行う学生のために、ボランティア活動を終えたら、報告書の提出をお願いします。報告書は地域交流センター内で自由に閲覧できるようにしています。

一、仲間を探すべし

地域交流センターには学年や学部・学科・専攻に関係なく、たくさんの学生が来室します。「地域交流センターで出会って、友だちになった」「地域交流センターで集まるメンバーでサークルを立ち上げた」など、普段の大学生活だけでは出会わない人たちと地域交流センターで出会い、仲間の輪を広げていきます。

一、新しいプロジェクトの提案すべし

東日本大震災が発生してからすぐ募金活動を始めたのは学生たちでした。学生たちの提案から地域交流センターがバックアップするようになり、それがプロジェクトとなって、福島県いわき市にバスを出し、ボランティア活動を行う活動までになりました。地域交流センターでは、学生や地域の方々の声を聞き、それをプロジェクトに変えていくことを積極的に進めています。

一、地域交流センターのサポートすべし

地域交流センターでは学生スタッフを募集しています。サポート内容は、「情報誌の作成」「広報活動」「プロジェクトリーダー」「来室者へのボランティア相談・紹介」などです。学生スタッフの力が地域交流センターのさらなる発展に結びつきます。

一、ボランティア登録すべし

ボランティア登録をすると、メールで希望したボランティア情報が入ったことをお知らせします。ボランティア活動を行なって、単位取得をしたい場合この登録が必要となります。

一、ボランティア活動を行なって、単位を取得すべし

ボランティア活動を四十五時間（ボランティア養成講座を受講すると三十五時間）行うと、一単位取得できます。また、ボランティア活動証明書も発行しますので、大学四年間で行ったボランティア活動を地域交流センターがデータで管理します。

一、ボランティア活動保険の加入手続きをすべし

地域交流センターでは、ボランティア活動保険の加入手続きの代行をしています。最寄りの社会福祉協議会でもできますので、四、五月にボランティア活動を行う方は、加入手続きを行なってください。なお、加入手続きの代行は、五月三十一日まで受付をしています。

その他にもたくさんの利用術があると思います。みなさんで見つけてください。



ボランティア活動で心がけること

1. 約束・秘密は、せつたいに守りましょう

ボランティア活動は相手との信頼関係で成り立っています。無断で休んだり、遅刻したりしないようにしましょう。また、活動中に知り得た個人情報、絶対に他言してはいけません。自分の中にとどめておきましょう。

2. 相手のキモチを考えて行動しましょう

せっかくの活動も、もし相手が望んでいないことを行なってしまったら、ただの迷惑行為になってしまいます。相手ができることを色々と行なってしまっても、見守ることが必要なときもあります。接する人のことをよく考えて、活動しましょう。

3. わからないことは聞くようにしましょう

最初はわからないことが多いです。わからないことがあっても誰にも聞かず、自分の判断だけで行動してしまうと思わぬ事故につながることもあります。わからないことがあったら、職員の方やベテランのボランティアさんに聞き、指示に従いましょう。

4. 元気と笑顔で心がけましょう

笑顔であいさつをされたり、話しかけられたりすると、だれでも嬉しい気持ちになります。緊張しているときこそ、元気にあいさつし、いつも笑顔で心がけましょう。

5. 無理をしないようにしましょう

今のあなたは非常にモチベーションが高く、「色々な活動に挑戦してみたい」「毎日、活動したい」と思っているかもしれませんが、でも、がんばりすぎて体調を崩してしまうと、ボランティア先に迷惑をかけてしまいます。最初は少しずつ、慣れてきたら段々増やして、「細く長く」行うことがボランティア活動のコツです。

また、自分にはできやうにない活動を頼まれたときにはきちんと断りましょう。

新しい福祉系サークルが誕生!!

地域交流センターには、積極的にボランティア活動を行っている学生が毎日のべ20人以上来室します。そのような学生たちが結集し、『国際交流サークルE.A.R.T.H』が4月に誕生しました。本学に在籍している3人のベトナム人留学生も入部し、社会福祉専攻2年生のダン・ア・ホワイ・チンさんが副部長になりました。そして、部長は1年生の時からボランティア活動を積極的に行っている心理福祉学科2年生の星慶介くんになりました。このサークルの名前である『E.A.R.T.H』の意味は、『Enjoy Action Respect Together Happy』の頭文字で、『共に楽しみ、積極的に行動し、互いの国を尊重し、皆で一緒に幸せになる』という意味があります。

この『E.A.R.T.H』を基本理念とし、今後は各国の文化・福祉・教育などを研究したり、各国の方々や他大学の国際交流サークルとの交流を深めたりなどの活動を行なっていきます。

最後に部長の星くんから一言です。「全てものに感謝し、全ての人に敬意を持って、活動していきたいと思います。」



↑部長の星くんと副部長のチンさん